

企画展

しよく ぶつ こえ き  
植物たちの声を聴く

いわ たに ゆき こ せ かい  
— 岩谷雪子の世界 —



2024.11.2 sat. ~ 2025.1.22 wed.

企画展示：9:30 ~ 16:30 会場：記念館企画展示室

ソナレノギク



# 開催にあたって

早春に可憐な花をつけるバイカオウレン。その開花はニュースで取り上げられるほど話題となりますが、その後ひっそりと実を結んでいる様子を知っている人は、どれくらいいるでしょうか。造形作家・<sup>いわたに ゆきこ</sup>岩谷雪子氏は、普段見過ごされがちな植物の細部に造形的な魅力を見出し、植物を採集し、乾燥し、植物たちの声を聴くかのように向きあって作品を制作します。それは、植物に触れながら、植物の性質を理解し、そこから感じたものを損なわないように形づくる緻密で繊細な作業です。岩谷氏は、作品をつくる動機を次のように語っています。

「私達の周りに実は存在しているたくさんの<sup>いのち</sup>生命を感じるため」本展の作品を制作するにあたっては、当園で植物を採集しています。作品となった植物たちと改めて園内で対話してもらうことも、本展の狙いです。

当園や高知県立牧野植物園などで採集した<sup>まきの とみ た ろ う</sup>牧野富太郎博士ゆかりの植物をアートとして再構成した作品を通して、本展がこれまで見過ごしていた植物たちの魅力に気づききっかけとなれば幸いです。



バイカオウレン

## 関連イベント

### ① アーティストトーク

講師：岩谷雪子氏（造形作家）

日時：11月3日（日）

①午前10時30分～午前11時 ②午後2時30分～午後3時

内容：展示された作品の制作秘話や作品に込めた思いなどをお話しいただきます。

定員：各回20名（先着）

### ② ギャラリートーク 学芸員による作品になった植物の紹介

日時：12月7日（土）

①午前10時30分～50分 ②午後2時30分～50分

定員：各回15名（先着）

①、②ともに費用は無料、場所は牧野記念庭園記念館企画展示室（イベント中の入室は事前申込者を優先します）。申し込みは、10月23日（水）練馬区立牧野記念庭園公式サイト内イベント申込フォームにて受付、先着順。

※原則、練馬区在住、在勤、在学の方を対象としています。  
※お申し込み後2日間が経過しても当館からの返信がない場合はお電話（03-6904-6403）でご連絡ください。受信設定をしている場合は、あらかじめ設定を解除、あるいは下記ドメイン指定受信設定を行ってください。[@makinoteien.jp]

11/9（土）に花マルシェを開催します。  
詳細が決まり次第公式HPにてご案内します。



### <sup>いわたに ゆきこ</sup>岩谷雪子 略歴

1958年札幌市生まれ、高知市在住。武蔵野美術大学日本画科卒業。植物で立体作品やインスタレーション作品を制作。近年の主な展覧会に「ブレイカープロジェクト」（大阪、2024年）、「六甲ミーツアート」（兵庫、2019、2021年）、「植物は、うごく」高知県立牧野植物園（2020年）、「Moving Plants」Ronnebæksholm（デンマーク、2017年）、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」（新潟、2015年）など、芸術祭やグループ展に出品するほか、The Third Gallery Aya（大阪）や高知、東京などで個展も開催する。六甲ミーツアート2019では公募大賞グランプリを受賞。



### <sup>まきの とみ た ろ う</sup>牧野富太郎 略歴

文久2年（1862年）4月24日に高知の佐川村に生まれる。生涯に発見・命名した植物は1,500種類以上、収集した標本は約40万枚、研究のために収集した書籍は約4万5千冊にのぼる。大正15年（1926年）に渋谷から北豊島郡大泉村（現練馬区立牧野記念庭園の所在地）に移り住み、昭和32年（1957年）に満94歳で没するまでの約30年をこの地で過ごした。



牧野博士が  
愛した街  
練馬

#### 交通案内

- 電車をご利用の方：西武池袋線 大泉学園駅（南口）徒歩5分
- バスをご利用の方：主なバス経路
  - ・JR中央線 荻窪駅 / 西武新宿線 上井草駅から西武バス「長久保行」
  - ・JR中央線 西荻窪駅 / 西武新宿線 上石神井駅から西武バス・関東バス「大泉学園駅南口行」
  - ・JR中央線 吉祥寺駅 / 西武新宿線 武蔵関駅から西武バス「新座栄行」 「都民農園セコニック行」他 いずれもバス停「学芸大附属前」下車、徒歩3分

